



Hello!
NEW

新居浜

新居浜の
玉手箱

vol.40

印紙にみる税制の歴史

—— 中萩町役場文書より ——

広告欄



中萩町役場文書の「取引高税印紙」



「取引高税印紙」のポスター（国税庁 HP より）

右の写真は、中萩町役場の公文書から出てきた「取引高税印紙」です。取引高税とは、昭和23（1948）年に導入された税の一種です。物品販売業などの39業種の営業者が扱う全ての取引価格に対し、1%の税率で課税されました。

当時は、所得税や相続税、酒税などが主な税でしたが、戦後の税収難の打開と所得税の減税を目指して導入され、確実に収税するために印紙納付でした。使用済の印紙は学校などに寄付され、額面に応じた交付金が支給されました。そのため、左のようなポスターも登場しました。しかし、印紙納付の煩雑さや負担の累積などから不評となり、昭和25年1月で廃止されます。この印紙はわずか一年半ほどしか発行されませんでした。

このような史料は、個人宅などに眠る古文書とは違う行政独自のものです。終戦直後の財政を物語る史料として貴重であるといえます。

市史編さん室では、新居浜市に関する古い資料を調べています。皆さんのご自宅にも古い写真や文書などが眠っていないませんか？情報をお待ちしています。

市史編さん室 65 - 1567

